

## J A R L 関係系 目録 ・ 中野幸枝関係系

* J A 3 R L ・ J A 3 Y R L の運用の周波数・通信内容	1
* レピーター設置・免許申請・センター局・サブセンター局・器材	2
* 2月2日のボランティア応募リスト	3～6
* 特別局の設置場所及び連絡電話一覧	7
* 無線機の徹収	9
* 無線関係ボランティアの終了案内	11～12
* アマチュア無線の災害通信体制基本要綱	13～14
* 基地局反省会の案内（兵庫県支部）と活動記録の依頼	15～17
* 阪神・淡路大震災非常通信関係者の表彰対象者の依頼	18

~~JN3JLP~~  
~~VJA~~ ~~QZ~~

10/20/11

(34)

平成7年1月28日

JARL関西地方本部

10325, 10275

# JARL/JA3YRLの運用について

N3JLP

1 兵庫県南部地震の災害復旧支援センター局として、非常通信の運用、または非常通信の支援を行うものとする。

2 非常通信周波数として衛星通信周波数の一部を使用することを郵政省から認められたので、次の周波数のワッチするとともに、非常通信を行っていること及び非常通信に協力願いたい旨のアナウンスを行う。

- 非常通信周波数 436.88MHz
- 436.72MHz
- 436.50MHz

SSB  
10.600

145.00MHz, 433.00MHzをはじめ、その他の周波数においても非常通信に妨害を与える局を認めたまは、災害復旧のため非常通信を行っている旨の説明し、協力を得るよう努力すること。

3 神戸市東灘区に開設のサブセンター局JA3YRLと連携をとり、主として神戸市内及びその近郊に配備された200台のハンディ機、及び一般のアマチュア局と交信し、次号の各種情報の収集、伝達を図ると共に、各局からの問合せに対しても情報提供を行うこと。

4 通信事項はアマチュア業務の範囲に含まれるもの及び電波法第52条の非常通信によるものである。非常通信の通信事項には次の各項が含まれる。

- ・交通情報及び道路の損壊状況の情報
- ・近隣居住者、知人等の安否の照会
- ・水、食料等を扱っている商店等の照会
- ・公共サービスの実施状況の伝達等
- ・被災地居住のアマチュア局の動静、(避難先、臨居先、被害状況等)

229  
1676

5 被災地居住のアマチュア局の動静は、CQを出す等積極的に各局に呼びかけ現状把握を努めること。それにより被災地居住のアマチュア局の安否、避難先、被害状況等のデータベースを作成するとともに、安否の照会等に対応すること。

6 運用の時間は、2月末日までは、土曜、日曜、祭日を含め、10時-19時まで運用したい。

それ以降については状況を見極めてから決めたい。

086-284-7730

AMDA

AMVA

JA3QVQ

292-0222

086-702-7343

岩田区

031-337-7116

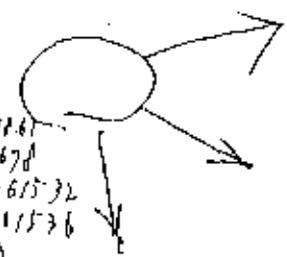
031-337-7116

031-17-61532

11536

和歌山

(JA)SLM



平成 7 年 1 月 2 8 日  
J A R L 関西地方本部

兵庫県南部地震災害復旧協力について、お力添えを賜ることになり厚くお礼申し上げます。

被災地では、災害復旧に向けての活動が進んでいますが、被災地における通信手段の確保はまだ十分とは言えず、次の方法で協力すると共に、併せて、アマチュア局および J A R L 会員の消息について情報の収集ならびに提供をうけて記録し、外部からの問い合わせに対して回答出来るような体制をつくりたいと考えていますので、ご協力方宜しくお願い申し上げます。

- 1 広域レピータ J R 3 W A を生駒山から、神戸向け八木アンテナで、1 月 2 1 日、1 4 時 3 0 分より 1 3 0 及び 1 2 0 0 M H z で運用をはじめた。  
災害復旧関係の通信を優先する旨アナウンスを度々行う予定。
- 2 J A I A の協力を得てハンディ機 2 0 0 台を被災地に配布  
コールサインは 8 J 3 A A A から始まる。特別措置として口頭による免許申請、口頭による許可。  
機器の配布は兵庫県支部が行った、一部は 1 月 2 6 日現地へ配布した。  
アイコム、アルインコ、ケンウッド、マランツ、八重洲、各 ~~50~~ 台。  
144、~~400~~ 400 40
- 3 被災地内にレピータを移設。  
J R 3 V U (1292.38MHz) を 1 月 2 6 日に東灘区へ移設し、救援活動に使用。  
更に、4 0 0 M H z レピータの新設も考慮中。
- 4 J A 3 R L を運用し、災害復旧支援のセンター局とする。  
1 月 2 8 日から運用開始の予定。
- 5 J A 3 Y R L の運用、被災地の東灘区に 1 月 2 6 日開局、J A 3 R L のサブとして運用開始した。

兵庫県支部  
東灘区特設

死傷  
TR 0190-64-5710

J A 3 R L

J N 3 S L P 呼出

J A 3 Y R L

連絡用周波数

436.50  
436.72  
436.88

救援対策用又は救援対策用に  
移転等をしたレピータ局

生駒山 兵庫区  
JR3WA JR3VU  
439.34 439.98  
1291.06

西区 芦屋市  
JR3VA JR3VK  
439.54 439.78

JARL関西地方事務局  
TEL 06-779-1676 FAX 06-779-0489

JA3RL

富安宅  
TEL 078-435-2213 FAX 078-435-2214

JA3YRL

東灘区森北町779

秋田兵庫県支部長 (JA3SHL)  
TEL 07914-2-2492  
FAX 07914-2-4727

安孫子兵庫県支部渉外担当幹事  
TEL 06-707-6247 (JH3GXF)  
030-16-57495  
FAX 06-707-2152

兵庫区役所内

8J3AMM

TEL078-579-3304  
FAX078-579-3374

長田区役所3F  
準備中

8J3AMS

TEL 030-920-9214  
FAX 078-579-2335

神戸学生青年センター  
(都立野崎)

8J3AMJ

TEL 078-851-2760  
FAX 078-821-5878

東灘区役所1F5階

8J3AML

TEL 078-811-4783  
TEL078-858-0212  
FAX078-858-0212

芦屋市役所東館2F  
新庁舎17階

8J3AMO

0797-31-2121  
2745  
災害対策本部

8J3AMP

0797-31-2121

西宮市  
福祉会館4F

8J3AMR

TEL0798-26-9160  
FAX0798-26-2126

西宮市  
広田小学校

8J3AMT

0798-70-4163

宝塚市

8J3AMQ

西区体育館

8J3AMK

078-961-1381

西区  
神戸市外国語大学

8J3AMN

受付室078-794-8111  
衣室078-794-8100

(兵庫区)

JA3CGK

078-521-2982

(灘区)

JA3WGL

078-851-0759

平成7年3月28日

各位 殿

(社)財団法人アマチュア無線連盟

兵庫県支部  
支部長 秋田



〒878-02 糸島郡2873-1 TEL 07914-2-2492

FAX 07914-2-2493 兼 TEL 07914-2-2493

### 無線機の撤収について

拝啓 春風の候 皆様にはいよいよ清栄の段お慶び申し上げます。  
毎日のボランティア活動ご苦労様です。

さて、(社)日本アマチュア無線連盟は震災発生後1月25日からアマチュア無線を利用して安否情報、交通情報、ライフラインの復旧情報及び公共行政サービスの伝達等被災地支援のための通信を奨励してまいりました。

しかしながら、二ヶ月余を経過し現在交通道路も復旧しつつあり、ライフラインも90%回復し、避難所はまだまだ残っていますが行政も落ち着きを取り戻しつつあります。

3月25日連盟は臨時関西地方本部会議を開催し、今回の非常通信は当初の目的を達成したとの判断のもとに、一部の地域(後述)を除き3月31日をもって終了し無線機を撤収する事に決定いたしました。

同日をもってネットワークを解消しJABRL及びJA3YRLは運用を停波し、臨時に移設したレピータは停波します。

4月1日以後も引き続き災害復旧のための連絡用に無線機の貸し出しを必要とする地域には、下記の条件について兵庫県支部内の復興委員会で検討して貸し出しをいたしますので、早急に兵庫県支部長までお申しで下さい。

貸し出し期間は4月15日迄とします。

長期間に及び皆様のお活動、御協力に対しお礼の言葉もありません、有難うございました。支節の今後の活動は記録と体験談の作成を開始しますのでぜひ写真並びに資料をお送りますようお願いいたします。

今後ともご支援ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

記

1. 活動の主旨 目的(通信内容)
2. 団体名、代表者氏名 住所、電話番号(連絡の取れるととる)
3. 貸し出し期間を遷してリーダーの活動が可能かどうか
4. 従事するボランティアの人数を確保できるか(最低アマチュア局数名)
5. 非常通信とは何か理解している事

平成7年4月1日

兵庫県南部地震被災地支援に  
ご協力戴いたボランティアの皆様へ

(社)日本アマチュア無線連盟  
関西地方本部  
本部長 島 伊三治

拝啓 永かった冬もいつしか過ぎ桜前線の北上の便りも聞かれる候となりました。  
皆様方には益々ご活躍の事と拝察いたします。

さて、平成7年1月17日早朝、未曾有の大地震が兵庫県南部地域を襲って以来、500名を超えるボランティアの皆様方には私事をなげうって当連盟が行いました被災地支援のための非常通信及びボランティア活動にご協力戴きまして地方本部会議役員一同、心から厚くお礼申し上げます。

当連盟では郵政省のご理解・ご指導のもとに、また被災地域のアマチュア無線家の献身的なご努力により、レピータ局の移設を行い、JA3RL及びJA3YRLを核として、被災地に11局の基地局を設け、JAIAの寄付及び当連盟の調達した携帯型無線機により非常通信ネットワークを構築いたしました。

これらは、行政、保健所、避難所等間のライフライン及び物資の調達、輸送関連等の情報伝達を行い、災害復旧のため、また被災者支援に多大の貢献をすることが出来ました。

この成果はネットワークの維持及びボランティア活動に協力戴いた皆様のおかげと考えております。

去る3月25日臨時関西地方本部会議を開催し、兵庫県支部の報告を基に復旧状況を鑑み、3月31日をもって上記ネットワークを解消すると共に、4月15日をもって全面的に非常通信を終了し、撤収することにいたしました。

長期間の災害支援活動にご協力戴き誠に有り難う御座いました。「人と人が助け合う」というボランティア精神を具現された皆様にご敬意を表するとともに、改めてお礼を申し上げます。

皆様のご健康をお祈り致しますと共に、今後アマチュア無線業務について一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

敬具

平成7年4月4日

J A 3 R L

運用者各位 殿

J A R L 関西地方本部長

J A 3 A A 島 伊三裕

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度の阪神大震災に伴う非常通信につきましては、関西地方本部長 J A 3 R L を通じまして、大変なご協力を賜り有り難う御座いました。

ご連絡申し上げましたように、J A 3 R L / J A 3 Y R L / 8 J 3 A M J 等の非常通信ネットワークは3月31日をもちまして、Q R T いたしました。

一部残務整理のため今月半ばまでのこるものもありますが、一般の通信ネットワークが回復し、非常通信によらずとも通信が確保できると判断したものです。

また、災害復旧支援用に移設しましたレピーターも全て停波いたしました。

2ヶ月にわたる長期のご支援に対し厚くお礼申し上げます。

今回の様な大規模で、かつ長期にわたる災害復旧支援体制は連盟としても初めての事であり、とくに J A 3 R L の場合は後方支援ということで、直接非常通信を行うと言うことが少なく、姑耆局からの周波数のガード、混信局に対する非常通信の P R 等、俗に言う縁の下の力持ち的な運用のためストレスがたまる様な状態が続いたことと拝察いたします。

今回の様な災害が今後、何時、何地で発生するやも知れず、J A 3 R L の運用を通じて皆様方の体験されました貴重な経験につきましては、是非ご意見を賜りたく存じます。

また、連盟におきましても、今回の様な大規模災害の発生時または災害復旧時等における対応について検討を始めていますので、皆様の貴重な体験及びご意見をそれにも反映させたいものと思っています。

ご多忙中誠に恐縮ですが、次の通りお集まり願えれば幸甚です。

何卒宜しくお願い申し上げます。

日時 4月9日(日) 午前10時から午前12時まで

場所 天王寺区大道 日本アマチュア無線連盟 関西地方事務局 3F

敬具

## アマチュア無線による災害通信体制の基本要綱

阪神・淡路大震災クラスの大規模災害が発生した場合における、アマチュア無線による通信体制について、次の事項を中心に今後検討する。

### 1. (基本原則)

大規模災害が発生した場合、アマチュア無線家は自己の責任において非常通信並びに災害復旧通信に無報酬で協力する。

なお、上記の通信が、連盟からの指示による場合においても同様とする。

### 2. (自己責任)

アマチュア無線家が、非常通信等に参加したことによって生じる経費等の負担及び二次災害等によるすべての危険は自己の責任において処理するものとする。

### 3. (組織)

阪神・淡路大震災においては、連盟会長—地方本部—県支部の体制で災害救援活動を実施しているが、今後は特別な枠組みについても検討する。

### 4. (非常通信網の整備)

全国的な通信ネットワーク、エリア別、県支部別のネットワーク等を構築する。

この場合、混信・妨害に強い通信手段とするため、HF帯によるもの、V・UHF帯によるもの等多層的なネットワークの構築を目指すこととする。

### 5. (関係機関との協力)

非常通信の実施等については、郵政省及び防災関係機関との連携・協議の上、救援活動を行う。

この場合、非常通信協議会との連携のみならず、連盟本部においては郵政省及び中央防災会議と、地方本部及び支部にあっては、地方電気通信監理局及び都道府県防災会議または市町村防災会議等との連携を密にするとともに、国の策定する防災基本計画をはじめ、都道府県地域防災計画、市町村地域防災計画に積極的に協力し、一定の役割を果たすものとする。

## 6. (無線設備の保有)

簡易な操作で通信が可能な無線設備を相当数保有することとし、必要な処置を講ずる。

## 7. (訓練)

非常通信協議会が実施する訓練に参画するほか、一定期間毎に連盟独自の非常通信訓練を以下のとおり実施することを検討する。

- (1) 全国的訓練
- (2) 地方本部内訓練
- (3) 支部の訓練
- (4) その他、国・地方自治体等が行う防災訓練等への参加

## 8. (研究)

- (1) 防災機関と連携し、地域防災計画にマッチした通信網の構築について研究する。
- (2) 妨害に強い新たな通信方式の技術的な研究及び簡易な操作の無線設備の研究、開発を行う。
- (3) 非常通信周波数の再検討を行う。
- (4) 多重・多段レピータの開発。
- (5) アマチュア無線機の公衆網への接続。

## 9. (その他)

非常通信及び災害復旧通信に従事する間における事故等に係わる保険制度についても検討する。

各基地局の反省会のご案内

平成7年4月8日

(株)日本無線



1月17日の阪神大震災より3ヶ月近くになり、被災地の各地では復興が叫ばれている中、皆様には3月末を持って撤収さちに現在活動中のアマチュア局もいよいよ又地元で活動を続けている皆様には顔が下がります。

今回各基地局に3日以上ボランティア活動をしていただいた方を対象に反省会を下記の通り取り行います。

また、手記及び体験談等記録をお持ちいただければ幸いです。引き続き募集していますので宜しくお願い申し上げます。

記

- 1. 日時 4月22日(土) 午後6時～
- 2. 場所 滝川神社(榑公会館内) 別紙
- 3. 会費 1,500円(餅さんには申し訳ありませんが、一部負担をお願いいたします)

- 4. 締め切り日 4月18日 必着 (縦書同封)
- 出席の返事は会場の予約の関係場、同封の柱がきを片紙をお願い申し上げます。

秋田 政廣                      連絡先 赤穂市御崎2873  
 TEL                                07914-2-2493(昼)  
                                       2-2492(夜)  
 FAX                                07914-2-4727

## 阪神淡路大震災にボランティアとして活動されたハムの皆様へのお願い

被災地にも待ちわびた春が訪れ復興への歩みも本格的になりました。今回の震災に関しお力添えを賜り誠にありがとうございました。お蔭様でアマチュア無線運用による救援活動も大きな成果を挙げその使命を終える事ができました。

被災地が蘇るにはまだ相当の時間を要し今後も積極的な支援活動が必要ですが、JARLとしては以後JARL兵庫県支部阪神淡路大震災復興委員会を設置し非常局の扱いを含めて支援の継続と事後処理を並行してゆくことになりました。

そこで事後処理の一環として私たちの今回の活動を記録し正しい歴史を残す作業を開始いたしました。記憶は時とともに薄れてゆきます。今個々の頭のなかにある思いを書きとめ貴重な体験を風化させることなく次代に申し送りたいと思います。

震災後、ボランティアとして名乗りを挙げた仲間たちが運用した非常無線通信や救援活動の体験を整理分析することによって今後の災害に対しアマチュア無線がはたすべき課題が見つかるのではないかと考えます。

ボランティアとして貴重なお時間をご提供いただいた皆様のかけがえのない体験談をお待ちしております。

もし参考となる写真や映像、その他資料をお持ちの方はお知らせください。

原稿には氏名を明記し、別紙の項目に記入の上一緒にお送りください。  
お寄せいただいた貴重な情報やご意見は冊子にまとめる場合がありますのでご了承ください。 4月末日までにお送りいただければ幸いです。  
原稿は20字×20字の原稿用紙か文字数が明らかになる用紙をお使いください  
ワープロによる原稿も20×20字の400字を一単位としてお送りください。

原稿寄稿先 郵送は：

〒655 神戸市垂水区東舞子町14-8  
JARL兵庫県支部  
阪神淡路大震災復興委員会  
Tel. 078-784-5586 Fax. 078-784-8600

FAXによる原稿は 078-784-8600で受け付けています。

平成 7年 4月 1日

JARL兵庫県支部  
支部長 秋田 政 廣

原稿と一緒にお願いします。

コールサイン	氏名〔77対〕	年齢
住所 ㊦	連絡先 ☎ 番号 FAX番号	

アマチュア無線を運用された方

従事先	期間 月 日から 月 日迄の 日間
奉仕概要	総時間 時間

アマチュア無線活動以外に被災地で活動された方

従事先	期間 月 日から 月 日迄の 日間
奉仕概要	総時間 時間

ボランティアの動機。特筆すべき項目についてお書きください。

.....

.....

.....

.....

別紙原稿にはご自身の見たこと実際に体験したこと感じたことをお書きください。特に地震発生直後の状況については必ず触れてください。

アマチュア無線が果たした役割と今後の目指すべき事柄や提案をお寄せください。

平成7年7月15日

関係者 各位

社団法人日本アマチュア無線連盟  
大阪府支部長 宮本正一

阪神・淡路大震災非常通信関係表彰対象者の推薦について

阪神・淡路大震災において、人命救助や災害復旧のためにアマチュア無線家として非常通信に参加・協力していただいた方々のご苦勞に対し、JARLとして表彰を行いたいの  
で、対象者を推薦するようにとの指示がありました。  
については別紙要項の通りご記入いただき、当方宛お送りいただければ幸いです。当方にて  
連盟表彰規程第4条により、推薦書を作成し会長宛提出いたします。  
この表彰は、表彰規程第2条第1号（アマチュア無線を通じての社会福祉に対する顕著な  
貢献）に該当するものとし、下記の基準により表彰することとなっております。

記

阪神・淡路大震災においてご苦勞いただいた次の方々。

1. アマチュア無線により非常通信を行った方
2. アマチュア無線による非常通信に参加した方および協力した方

送付先：〒583 羽曳野市羽曳が丘6-9-2 宮本正一（JARLDBD）  
TEL&FAX 0729-58-5108

締切日：7月末日までによりしくお願いいたします。

## 特別局「8J3AMJ」活動報告書

*過去の人命救助の通信から今回の期間・組織役員等の活動報告	1 - 4
*阪神・淡路大震災のライフライン回復の実状	5
*特別局「8J3AMJ」の協力者にJARL参加証交付のお願い	6
*地震発生から「8J3AMJ」の閉局	7 - 10
*母親教室（たまごママ，ひよこママ）の開催（1 - 2回）	11 - 12
*「8J3AMJ」参加者の注意点と無線通信操作方法	13 - 14
*神戸市灘区避難所状況総覧（2月24日現在）	15 - 18
*非常通信の無線局運用規則	19 - 20

## 今後の地震に対するの考察

*近畿地方の過去の地震現象と今回の地震の検証	21 - 24
*阪神・淡路大震災の地殻変動と余震	25 - 40
*太陽黒点推移と地震の関係及び天候、気圧	41 - 42
*阪神・淡路大震災の前日から7月迄の震源地と震度	43 - 44
*月の引力と潮汐による警戒想定	45
*地震予知と前兆（磁場・地下水・動植物・地盤・空・大気等）	46 - 58
*地震の歴史（599 - 1995年）	59 - 72
*天候・気圧・太陽黒点と地震との関係（1901 - 1995年）	73 - 74
*阪神・淡路大震災当日の時間経過の行動と9ヶ月後の行動	75 - 76
*非常通信開始のモデルケースと日時経過の通報事項	77 - 78
*緊急連絡先及び協力者一覧	79
*神戸市東灘区、灘区「大雨洪水による避難勧告」発令の無線通信	80
*避難通信の側面援助活動（7年8月20日：奈良県羽曳谷）	81
*地震雲観察記録	82 - 84
*新聞報道記録	85 - 87

## 阪神・淡路大震災の当日記録

*JJ3JLQ 雨宮 英昭	89 - 90
---------------	---------

## 阪神、淡路大震災における非常通信「災害救援通信」を体験して

- (1) 報告者 JA3WGL (JARL会員) 神戸市灘区居住 谷 通 好
- (2) 私の人命救助に関する通信の体験 ①避難通信停止シーロンス フィニー ②医事通信MDC ③地震アマチュア無線局開局以来、二度目の体験をしましたが、非常三回を前置する通信は未だ経験はありません。
- ① 神戸市兵庫区蛸取山へJR3KQG杉本雄介氏と共に移動運用中、21MHzにてインドネシア近海で海難した日本のヨットから「既に発信済みのSOSについて、転覆したヨットの船体が回復したので海上保安庁へ連絡をして欲しい」旨の交信あり、145MHzにて神戸市内の局を中継、第5管区海上保安庁通信課へ有線連絡し、「SOSの解除」を依頼した。第5管区海上保安庁から感謝された。
- ② 1977年1月4日、日本よりベルシャ湾へ直行して石臼積み取りの、出光興産のマンモスタンカー沖の鳥島丸「池田鎮雄船長JJ1FKW」より「L4N.G106B南支那海航行中、乗組みの甲板員川原氏が原因不明の高熱を出して手足が腫れて苦しんで居る。船医の乗り組みがなく、救急薬を服用させても効果がない。「困惑をしている」との交信あり、直ちに堺市の医師JF3FY0八木義弘先生に有線連絡し、周波数指定、概略説明を行い三局にてMDC通信を開始、八木医師より問診、投薬のアドバイス指示、無事寄港を中断してシンガポール港に緊急寄港し、患者は入院後航空便にて無事帰国した。池田船長と患者川原氏本人からとして船長経由、感謝された。
- ③ 今回の阪神、淡路大震災 (地震直後は個人局、JARL特設局開設後8J3AMJと個人局を運用)

### (3) 阪神、淡路大震災(平成7年1月17日午前5時46分、当地区震度7激震)の運用について

※当時の個人的な状況 昨年3月末会社を定年退職、年金生活に入る。11月28日より12月23日まで約1ヶ月間開腹手術のため入院。病院生活に飽きあきしてX'mas退院をさせて貰い、自宅にて静養中のところ、2週間後大地震に遭難。静養どころでなくなってしまった。

- ① 当時の気象 気温3度 風力3m/s 風向北々東の風 曇り 日の出7時6分 上下動833ガル、左右動530ガル マグニチュード7.2 余震有感188回無感1,597回(3月25日現在)
- ② 被害状況 死者行方不明5,502人(3月26日現在) 負傷者26,815人(3月9日現在) 全壊家屋91,986棟 半壊家屋79,515棟 一部損壊多数 火災156件 道路損壊257ヶ所 神戸市の避難所1,138ヶ所307,022人(1月24日現在)

当局の被災状況は、蛍光灯は吊り金具配線を引きちぎって天井から落下、瓦、壁、ガラス類は破損した。近隣は屋根瓦がすべて落下したり倒壊家屋もあったが、幸いに当局は屋根も落ちずアンテナ系も無事で、筆筒、家具、テレビなどすべて飛び散り散乱した中、リグを取り出し、停電のため移動運用に愛用している川崎重工業製の発動発電機を起動し、周辺の被害状況を把握しようとした。以下行動の詳細を記録する。

- 地震発生時、就寝していたが上下動(連続3回)で頭が枕より浮き上がった程激しく、続いて25秒間南西QTE230から北東QTE050方向に大きく左右動が長時間続いた。激しい揺れのため起き上がり更衣することも出来なかった。(当時の音響:ズズシン! ユッサユッサ! バリバチドシーン!)
- 揺れが収まり停電のため真っ暗、懐中電灯を点灯更衣して、携帯ラジオSWオン何も情報が入らない。雨戸を明けて南方を展望、05:55西南西400米付近で猛火発生黒煙を吹き上げている。隣家の屋根瓦がずり落ち、壁が大きく割れ石造りの塀が倒れている。南々東500米付近で2ヶ所火災が上がってきた。つずいて西400米付近で火災発生。三方向の火災に囲まれて、延焼撲滅が懸念されたが、風向は北東ないし北々東の風で、風向きが変わらない限り大丈夫と判断した。
- 家の中は筆筒、家具、テレビ、本棚、台所用品が壊れ倒散乱、ガラス、食器類等が割れて、足の踏み場もない状態で、とりあえず各部屋への通路確保に足場を作り、ざっと目視点検する。続いて外に出て外観検査をする。道路には隣家の割れ瓦、石灯籠、樫木などが散乱している。半壊した家族は外に立ったまま、青ざめた表情でただ茫然と破壊された家を見ている。震えながら近所同士で話し合っている。
- 我が家は一部損壊で助かったが、火災の延焼を恐れ手近の貴重品をリュックサックへ収納し避難準備。
- 停電、断水、都市ガス、有線電話などライフラインは全てストップ。テレビ、ラジオ、無線機など商用電源使用機器は全てNG。携帯ラジオが地震の情報を伝えはじめたが、各地域の詳細状況は不明。(非常用の電源確保、予備のアンテナ系、トランシーバー、一週間の飲料水、熱加工をしないのでたべれる食料、懐中電灯、携帯ラジオ、出口確保用工具などを持ち出しやすい出口に置いておくこと)
- 車庫は被害皆無のため、自家用車に毛布、インスタントラーメン、菓子などを搭載し、余震による倒壊と親戚から避難するため、自宅より100米離れた幅員12米の広い道路へ緊急移動駐車(焼け出された

時の備え＝車両が家屋倒壊で下敷きになったり、通路が塞がって通行不能になる）車載通信機は有効！

7. 07:30頃より散乱したシャックから430MHzのリグを取り出し、玄関に置いていた発動発電機を起動し、状況把握のCQを発信した。入感するのは、大阪、奈良方面のみ、神戸が交信できない。

8. 08:00ひとまず対策後、空腹を覚え御飯を炊こうと昨夜用意していたガス釜の洗い米を電気炊飯器に移し、発動発電機を電源に電気炊飯する。発動発電機の燃料タンクには満タンにガソリンを入れているが3時間程しか発電できない。停電がいつまで続くか？ テレビ、仮設電灯をつけたい。電気釜で御飯も炊かなければならない。ガソリンスタンドも被災停電しているので給油不能。自家用車のガソリンを抜いても何時間発電出来るか？ 通信か生活か？ どちらが優先されるか。当然生活を選んで停波。

9. 18日16:30やっと商用電源復旧。電気とはこんなに便利で明るいものかと痛感した。シャックからVHF、HFのリグを取り出し、比較的被害の少なかった二階に設置運用開始。周辺の状況把握のため、西宮市、芦屋市、東灘区、灘区、中央区、兵庫区、長田区、須磨区、垂水区、西区の順に地域指定で繰り返し呼びかける。東灘区のJG610C富安氏より確実な応答有り。各地区の固定局の応答は殆ど無く、走行中の自動車局の応答のみ。被災地域では通信どころか仰天しているのか？ 断水のため、飲料水を求めに走ったり、芦屋の親戚が生死不明で歩いて芦屋まで往復。

20日より京都市、枚方市などからの、水、おにぎり等の救援物資搬入、日赤奈良率仕団の案内など交信。21日当局だけでは情報収集が限定されるので、近在のアマチュア局を誘いグルーブ化を計画し、復旧した有線電話で、JO3XUR、JR3RUB、JF3FUJ、JR3QXI、JS3MJJなどへ協力申し入れ。市内のアマチュア局は殆ど被災しており、その対応に追われて無線どころか他人のことまで構わって居れない状態と推察する。無線で各地区別に呼びかけて居たところ、神戸へ急遽全速入港してきた海上自衛隊ヘリ搭載護衛艦「しらね」搭乗のJMIYEP海上自衛隊横須賀基地HAMクラブOP小田嶋氏（清水給水支援業務）より応答があり『交信内容をあちこちワッチしたが、地震の神戸で非常通信らしき交信をしているのはJA3WGLだけで、交信に参加をしたい』と申し出あり快諾する。JG610Cより、「JARLより1、2Ghzのレピーター。ハンディトーカー貸し出し申し出、東灘区灘区市役所は不要、芦屋20台OK。JARL3名応援。赤穂の秋田支部長が120台用意している」JARLの御崎氏へ『2月5日よりの神戸講習会中止の申し出と受講者への通知方依頼』の有線電話。

22日レピーターテストに参加JA3XZW JH3FIS JO3TGH JA3AYU JA3MOU JA3KDK JO3TGH JA3IPNなど。（私は思う：今回の災害復旧通信の真前度??）給水支援の中継JO3CCW西区中氏、JQ3DSJ長山区真嶋氏など、災害派遣のJI3RKN倉藤氏などと交信。JF3NRI赤穂市竹谷氏と交信、秋田支部長の存在を知る。

灘区役所本間課長、高内係長、重村係長を尋ね、無線による支援がボランティアを申し入れる「今行っていることで精一パイでそれ以外のことは考えられない」との回答。高内係長より「青陽東義護学校の避難所で無線機の要求が出ているので、訪問をして欲しい」との話し有り、自転車で行く途中、泉通りの歩道で歩道上に捨ててあった布団に自転車が乗り上げ、右胸と右肩を捻挫した。（ボランティア保険必要あり）結果、携帯電話支給の要求であった。（初めての大规模災害で区役所の役人たちがオロオロ状態の有様）

23日レピーターJH3GXF JR3HED JA3GMJ JPEJSR JH3AEY JA3IPN JE3IXA JR3RUB。（以後レピーター局には混信妨害電波頻り、役に立たず）

23日？ JA3YRLが東灘区富安氏方に設置運用開始。当局は中継局に徹して個人局で運用する。（郵政省より非常通信要請21日？ 22日特設局が口頭にて開局許可された）

26日JA3RLへ救援要請とクレーム申し出『JA3YRLを富安氏宅に設置したが、富安氏一人でオペレーターは耐えられない。被災の片付け、断水の水汲み食料の調達など無線にかかり切るのは困難のはず、彼が潰れば大阪より被災地のコントロールは困難になると見込む。至急に応援オペレーターと水、食料を補給されたい』28日JH3QVS杉木氏 JO3XUR深野氏などへJA3YRLのオペレーター応援を有線にて依頼。日赤高知県支部、富山県支部、岐阜支部など救急診療について連絡。灘区民生部、神戸市消防局救急隊へ連絡。JI3QUO陸上自衛隊和泉連隊救援派遣通信隊と交信。

2月2日非常通信発令後も、混信妨害、占有チャンネルを主張する無法高奈良、大阪泉南などのトラック業者（呼び出し符号は言わない無免許者または局免切れの者？）JA3RLも排除しきれない。電波使用料を徴収している電波監理局は何をしているのか？ 我々が知っている鬼より恐い電監局の殿言は地に落ちてしまったのか？ 頼りにならないと痛感！ イザのとき役に立たないのか残念至極！

2月3日囲碁将棋連盟より寄贈の将棋150セットをJR3RUB鈴木氏と2人で灘市役所3階本間課長席まで搬入する。復旧状況は電話10日後電気3日後水道5日後給水25日後ガス2カ月後郵便10日後

(4) 災害通信特設局「8J3AMJ」 瀬区神戸学生青年センター内 設置運用について

- ① 2月5日に上記に特設。 JR3RUB鈴木氏がただ一人担当。JA3WGL谷、JN3QZZ岩崎氏、JE3WSD堤氏、高羽小学校ボランティアなどと情報交換。東灘区で既に開局している8J3AMLの大海戦術による避難所への救援物資搬送などと違った活動を模索する。人員も少なく、区役所の協力も期待できない地域柄、何をすれば効果が挙がり、被災者が期待できるか？ 試行錯誤。暗中偵察の状態が暫く続きましたが、無線を使って情報の提供をするのが、最も良い手段のボランティアだと判断し、重点をおきました。勿論、通信販売業者提供の衣料品、沖縄県よりの生花、囲碁将棋盤を避難所に分配搬送したり、行政の手の届きにくい小規模避難所、テント生活者を訪問したり、薪燗きの炊き出しなども実施しました。3月31日閉局に際し、小冊子「相談窓口情報&FAXサービス情報」を編集し避難所へ配布し、8J3AMJ局は各避難所、自宅でワッチの各局、他のボランティア団体に惜しまれながら閉局。
- ② 「8J3AMJ」に協力参加された人達について①エリア4②3③1④8④2⑤3⑥1⑦1⑧2⑨1⑩2  
JARL経由で派遣された方と、直接来られた方、および地元無線局の方で混成運用された。  
活動期間は全期間、ほぼ2ヶ月間、10日間、一週間、3日間、1日のみなど多種であった。  
(今後の課題として、ボランティアに来てくださる気持ちは有り難いのですが、一日のみは説明でおわつてしまい、戦力にならず、かえって迷惑? せめて3日以上の方に応援して貰いたいです)  
参加者146名(応援の医師、助産婦を含む)内訳JARL会員63名 非会員64名 非無線19名  
多くの方が寝袋持参で宿泊をされ、旅費、食費個人負担で参加をして下さった。
- ③ 「8J3AMJ」の人事 (混成部隊の局運用のため、借越ながらJA3WGLが独断決定しました)  
リーダー JR3RUB 鈴木氏 (計画的で実行力あり、外報関係にも長けている。地元局)  
※個人の業務。仕事を打ちやめて、会期間局運用にボランティアをされた功労者。  
サブリーダー JL7KFO 青野氏 (情報整理、学生長期滞在、情報についての発案者。長野県)  
※初期は避難所でボランティアをされていたが、当局に来られ閉局までよく頑張られた功労者。  
同上 JN3QZZ 岩崎氏 (全壊被災者、たまごママひよこママ提案要望者。全期地元局)  
同上 JG3QXI 宮崎氏 (地震直後交信局、夫人病院関係者、医師等知人多い。地元局)  
同上 JH3JJJ 足立氏 (ワープロによる名簿、ログブック作成。ファイル作成など)  
同上補 JJ3OTS 足立夫人( 同上 二人共、後半業務のため欠。ともに地元局)  
同上補 JH9AGN 山田氏 (知識豊富、折衝力を持ち、行動力有り。準長期 横須賀市)  
アドバイザー JA3WGL 谷 (JARL、行政関係との交渉、リーダーの拍子。全期地元局)
- ④ 「8J3AMJ」設置会場の交渉の裏方、隠れた功労者について  
JN3JLP 小坂氏 のお口添えにより長期に渡り、交通至便で電波ロケーション良好の場所に設置、運用が出来た。また、たまひよ講習会に適切なお助言を頂きました。ありがとうございました。
- ⑤ 有線電話、電子コピー機の利用と必要性について  
JA3YRIと8J3AMJが並列に開局し運用しましたが、無線では言えないプライベートな伝言、有線番号、住所の連絡など秘話性の連絡は、有線電話にならざるを得ず。学生青年センターでは、外線よりの電話回線が一本しかなく、活動が盛んになると共に、我々への呼び出しの頻度が多くなり、嫌な顔をされることが発生した。JARLの出川事務長に何度もお願いをして、許可を取り、御影電話局へ架設が一番早いとされる新規電話加入を申し入れた。加入料74,984円はJA3WGL谷が立て替え払いした。神戸市災害対策本部の証明書があれば早く架設できるとのこと。出川事務長に有線電話して証明書の発給依頼書を作成し送付、同書を携えて折りから来局中の秋田支部長と共に災害対策本部へ行き、担当官に事情説明をお願いするも、避難所の電話以外は扱わないとのこと。結局、電話申込から一週間後、電話の架設が完了し、通信情報収集の戦力が倍加された。内部事務、避難所への情報伝達など電子コピー機の使用は不可欠で、学生青年センターへ備え付けのコピー機を一枚15円で後払いの交渉ができた。  
(今後、非営利通信局運用のときは、有線電話FAX付きの架設とコピー機は必ずセットで備付けること)
- ⑥ 「8J3AMJ」傘下の特設局について (鈴木リーダーの適切な判断によるリグ貸し出しと運用)  
神戸大学救護隊 神戸大学パソコン情報班 フロンガス回収班 元氣村 避難所  
東京農工大ボランティア
- ⑦ 使用周波数と混信、故意による妨害と本部支援局JA3RL一部オペレーターの態度引継ぎについて  
Aoh 436.88Mhz Boh 436.72Mhz Coh 436.50Mhz の3波  
8J3AMJ局は436.88Mhzを常用したが、大阪のダンブトラックグループが立ち退かず、強引

にコールサインも言わずに使用。B、C 局も同様の妨害を受けた。レピート局もひどい妨害を受けた。精神に異常をきたしたのか、仲間はずれになったと自己喪失をしたのかわざわざバイクで特設局に近寄りて妨害電波を發放した馬鹿者がいる。2ヶ月間の長丁場であったため、いろいろな出来事があったが、非常通信の周波数を割り当てていただいた状態でも、あれだけの混信妨害があり、周波数の指定がなければとても通信は不能だったと推定される。前線現地の基地局および携帯局は粉塵のたちこめる中を避難所回りを実施している日中、J A 3 R L と J A 3 Y R L が交信、J A 3 R L のオペレーターが必死にも理そうな声で『アアアもう終わるのかな、帰えろのかな』と眠そうに話掛けている。各局がワッチしている周波数で送信をすることは、弛緩しきった態度で、非常に腹立たしかった。直ちに、有線電話で（直電電話が架設される前）J A R L の出川事務長に『オペレーターの発言、態度に嚴重注意方』申し入れた。

#### ⑧ 特筆すべきこと。

1. 日頃、交信していなかった各局と協力して同じ目的に向かって、ボランティア活動が出来た。
2. 保健所が避難所周りで手が出せなかった、妊産婦、新生児の母親講習会を近在の医師、助産婦の協力を得て、無線グループの主催で灘区、東灘区の2ヶ所で開催できた。
3. 2ヶ月間同室した中国、韓国からの留学生達と国際交流が出来、日本のアマチュア無線のボランティアの理解と親睦が出来た。彼等は羨望と賞賛の声を我々に話した。J A 3 Y R L 斎藤氏も素晴らしい。
4. 若い人達の、災害に対する旺盛なボランティアの奉仕活動は見事だった。J O 3 K X B
5. 無線ボランティアの参加者の、J A R L 会員、非会員の比率五分五分（無線を愛するものは皆同じ）
6. 兵庫県支部の対応が、非常に早かった（秋田支部長の決断力と実行力優秀、有能なスタッフを持つ）
7. 大阪一期一会ハムクラブ、大阪ローパワーハムクラブ、J A 5 各局より携帯無線機用の単3乾電池を寄贈してくださって、有効に使用できた。（当局よりお礼状を発送しました）
8. J R 3 X T Y 須磨区浜井氏が神戸市災害対策本部より、神戸市全域の避難所リストを入手電送してくだされ、我々のボランティア活動遂行に判断資料として、非常に有効だった。
9. 日頃、交信をしている神戸市内で比較的被害の少ない西区の各局に、通信の応援を求めたが期待した協力が得られなかったことが、残念であった。（交通移動手段困難との理由で）
10. 周波数、変調については通信距離、交信応答頻度、移動携帯性、普及度から、4 3 6 M h z F 3 は最悪であった。5 1 M h z F 3 はガラ明き状態だった。神戸へ救援に来られた局の中で1 4 5 M h z F 3 で交信を求める局が多く有り、当局はデュアルバンドで交信を続けた。1 4 5 M h z は協力良好。
11. VOX を使って交信する（主にJ F 愛好者）オペレーターは、今回のような通信には適心しない。
12. 被災されたのか？ 地元のみならずの活躍されるお声が、殆ど聞こえなかった。どうなっていたのか？

#### ⑨ 日本アマチュア無線連盟に期待したいこと。（危機管理体制の施行）

1. いつ、どこで発生しても対応出来る非常通信周波数帯を、日頃より確保、広報し、監視指導する。
2. 通信機材、予備乾電池、O P 用の飲料水、非常食を分散確保する。（一ヶ所集中は全滅の危険あり）
3. 今回参加のボランティア名簿の作成、日常から参加希望者を募集、登録を受け付ける。
4. 一週間に以上ボランティアに参加した方たちに「参加証明書」を希望者に発行する。
5. 非常事態が発生したときは、J A R L より即刻その地域に直行し、状況を把握する。（支援者の認識）  
かって、太平洋戦争のときにも、作戦遂行前に必ず司令部偵察機を現地派遣して的確な状況把握に務めました。これを実施しないと判断を錯誤し、前線と後方支援に考え方と対応にズレが生じます。
6. 電監局、J A R L によるアマチュア無線局に対する「非常通信」の認識再教育と違反者に対する厳罰の実施を強化し、違反者については公表して不法通信に脅威を与え、バンド内を正常化する。
7. 阪神、淡路大震災における兵庫県、神戸市など行政無線の機能停止、混乱状態と対比的に活躍したアマチュア無線グループのP R と今後の非常時における連携通信業務体制の啓蒙（実証した今日が最悪時）
8. 陸上自衛隊、海上自衛隊の隊員のなかには、無線従事者免許の所有者が大勢います。非常事態発生時彼等に携帯無線機を貸し出して、分布が広範囲で絶対多数のアマチュア無線局と官民一体の交信可能にして共通の情報を交換し、救助、救援体制を敷く。当然に警察、消防救急、市区町村に対しても同様。
9. J A 1 A へ単純機能で故障のない、落としても割れず、アンテナが折れない安価な携帯無線機を要望。
10. ボランティア保険について、当然の事乍ら契約をして下さりありがとうございました。  
現実には、参加当日名簿に記入し、F A X で J A R L へ電送、それから保険代理店に通知。保険発給は翌日からになってカラ振りの方が多くありました。改善として J A R L と保険代理店の二ヶ所に同報 F A X し、保険代理店に F A X が着信次第、契約が発効するように取り決められれば遅れなく保険された筈です。ご検討ください。J A R L 関西地方本部長、事務局のご協力、ご援助を感謝いたします。

## 阪神、淡路大震災における非常通信「災害救援通信」を体験して（補足追録）

- (1) 報告者 JA3WGL (JARL会員) 神戸市灘区居住 谷 通好
- (2) 私の人命救助に関する通信の体験 ①遭難通信停止シーロンス フィニー ②医学通信MDC  
 ①と②については通信の対象となる相手局は単独であり、③の今回の対象は広範囲の多数であったのが大きな相違で、更に大規模災害に於いて自分自身が被災者で、電源確保、通信機材復旧、飲料水確保に困難が伴う状況下の通信であった。平常多数運用している地元局が被災、停電で沈黙停波してしまった。
- (3) 阪神、淡路大震災の運用について
- ② 被害状況 (当局の被害状況) ※その後の調査で地震襲来方位微修正(方位盤測定VTRと写真撮影)隣家3軒倒壊、当局の自宅を基点として、方位230度南西から050度北東方向に、直線的に激震が連続してきた。地図上で230度で直線を引くとその先に震源地の淡路島北部に達し、その間三宮、灘区ではJR灘駅南側の岩屋北町、灘北町、灘区役所、六甲町、神前町、八幡町当局、高羽町、一王山町を秒速2〜3秒で走り貫通大破壊を発生した。自宅周辺を住宅地図で全半壊建物をマーキングした。
- 5 ライフライン回復の実情
- 電話 被災直後、送信不能、仙台、東京など遠距離から一部受信可能。公衆電話からの送受は一部を除き通話可能だった様子。3日後から芦屋市を除いて送受回復。10日後27日より全域回復。
- 電気 被災振動時停電。2日後の夕刻16:30送電回復。被災当日の夕刻以降、気温1度、停電で周辺は真っ暗で家の中で、カイロを4ヶ入れても寒くて震えていた。石油ストーブは2台あったが、頻繁に余震があり家屋倒壊の恐れがあるので、点火せず布団毛布にくるまった。商用電源回復に伴い、無線通信、ガス供給停止のため電気炊飯器、電気コンロ、電気ポットをフル活用した。照明がつきTVで災害全体の状況がつきつきに判明してきた。日頃、移動通信に愛用している川崎重工製の発動発電機1,200Wと800Wを2台所有しているが、重量の都合で1,200Wは納屋に收容、散乱した家具の下敷きで取り出し不能。800Wの発動発電機は、すぐに車載できるように玄関に置いてあったため、被災当日即時発電できた。電気釜、電熱コンロ、工事用電灯、ケーブルリール、水用ポリタンク等々、移動通信用に保管してあった器材で、日常家内より邪魔になると厄介物扱いされてきたが、非常事態に大活躍することになり、家内へ「役に立つ物ばかり、それ見たか」と鼻高々！ただ残念だったのは、発電機用の燃料のガソリン携行タンクが3本も有るのに、通常の火災危険予防のため空タンクにしていた。発電機のタンクには満タンにしていたが、給油不能のため発電による燃料消費が心細かった。
- 水道 避難所には2日後の昼か3日後には給水が始まった。被災2日後、私と妻の二人で指定避難所の六甲小学校へ行ったところ、既に2,500人が入り満員。後の人は離れた山の中腹にある長峰中学校へ行くと張り紙があった。自宅に戻り給水を待っていたが、5日後の午後やっとなら上自衛隊が給水車を派遣してくれ、並んで給水を受けた。100米離れた大谷産婦人科病院入口右サイドの水道栓が水が出ることを近所の人に聞き、山行き用のポリタンク20リットル1ヶ、10リットル1ヶをそれぞれ旅行カバン用キャリアーに固縛、風呂、鍋、釜、バケツに貯水した。飲料水、炊事用、洗浄用、トイレ用に節約して使用した。とても洗濯用には勿体なくて洗濯はできなかった。入浴と洗濯は、唯一走行できる六甲トンネル、北有科道路を走って神戸市北区の長尾宅へ4回訪問東条町のとどろき温泉へ2回入湯した。1ヶ月ぶりの2月17日自宅近くの銭湯高羽温泉へ並んで入浴制限時間20分間の入湯、次則21日に以降4〜5日間隔で入湯、着替えた。25日ぶりの2月8日17:00給水回復。それまで水の搬送に疲労した。
- ガス 震災直後ガス供給ストップ。料理の加熱調理、風呂沸かし、洗面所の給湯NG。約2ヶ月後の3月13日15:30応援に来ていた京都ガスによって、やっと供給回復。地中周辺のガス漏れがないか恐々とした思いで使用開始。我が家の風呂に手足を伸ばして入れる嬉しさを実感する。
- 郵便 灘郵便局も被災しており、郵便物が配達されてきたのは10日後の26日書留便が地震後初めてで15日後頃から、まとめて配達されてきた。同じ人から安否を気遣うハガキが4通もあった。見舞い品のゆうパックも10日後以降からであった。(電話不通のため郵便利用)
- 宅急便 発送者から後刻聞いたが、神戸方面は受付ないとのこと。郵便のみ取扱。
- (4) JR3JBQ(誤)→JR3RUB鈴木氏(正)と訂正(コールサイン誤記)
- ③ JA3YRLoP斎藤氏の個人コールサインはJO3KXBです(コールサイン追記)
- その後の会議 (1)4月17日JARLプロジェクトチーム (2)4月22日各基地局の反省会 以上

平成7年3月22日

JARL 関西地方事務局 島地方本部長、出川事務長殿

〒657 神戸市灘区八幡町2丁目3番19号  
谷 通 好 JA3WGL (JARL会員)  
☎078-851-0759

## 「災害無線通信ボランティア参加証明書」の交付についてお願い

1月17日に突如襲った阪神淡路大震災により大惨事が各地で発生し、行政の通信網並びに有線電話が寸断され更に停電、断水、都市ガスストップとなり、不安と混乱に陥りました。当無線局は、震度7の地域で付近では家屋の倒壊がありましたが、幸いに家屋一部崩壊の被害を受けましたが屋根も落ちずアンテナ系も残り、ショックから散乱したリグを取り出し、災害発生直後より発動発電機好動により通信を再開しました。1月22日のJA3XZW、JA3AYU他約10局のレピーター送受試験放送に参加したり、JG6100富安氏、JH3YPO岡赤奈良奉仕団、JF3NRI赤穂兵庫県支部長系、JM1YEPノ3海上自衛隊給水支援、JJ3GJJ枚方教員救援物資搬送他等々多数の各局と交信をしました。この間、JARLも支援活動を開始し、JA3RL、JA3YRLの通信が間もなく始まりました。その後、地元の各局、全国の各局がボランティアとして災害通信に協力していただきました。被災地の皆様は感謝して居られます。ボランティアに参加された方々は会社員、自営業、学生、主婦、会社OBなど様々ですが、「アマチュア無線を駆使して社会に奉仕する」一つの目的に向かって一致協力をして参りました。これらの方々こそ真の勇氣ある社会奉仕をなされた人達で、貴重な存在です。個人的な利益を求めずボランティアに従事された人達のステータスシンボルとして、「災害無線通信ボランティア参加証明書」の交付をしてくださるようお願い申し上げます。

### (1) ボランティア参加証明書の目的

- ① 非常災害発生時のボランティア活動参加記念とその証明。(名誉と実行力の証)
- ② 再びあってはならぬ災害ですが、次のあらゆる災害にそなえて動員できる有方なメンバーです。「緊急非常時活動呼び出し要員リスト」に登録をして下さい。
- ③ 企業等はボランティア活動に理解と協力に関心を示しており、人事採用の条件に取り入れる会社がおおくなっています。この証明書を所持する人達は、企業にとっても貴重な人材になると信じます。

### (2) 交付の条件

- ① JARLの会員、非会員を問わず、延べ一週間以上ボランティアに参加し活動をした者。
- ② 証明書の交付は、JA3RL、JA3YRL、8J3AMO、及び個人コールで通信業務に参加し、本人より交付の申請があった者。

### (3) 証明書の交付申請書 (案)

- ① 申請者の住所、郵便番号、呼び出し符号、氏名。
- ② 阪神淡路大震災の際、ボランティアをした場所、呼び出し符号、期間、活動内容。
- ③ 以上の通りボランティア活動をしたので、証明書の交付を申請いたします。

### (4) 証明書の内容 (案)

- ① 呼び出し符号 現住所(府県名) 氏名
- ② 平成7年1月17日阪神淡路大震災発生時、JARLの要請に際し貴局はボランティアに一週間以上にわたり参加をされ、活躍されたことを証明します。今後ともアマチュア無線の向上と社会奉仕に励まれることを希望します。
- ③ 社団法人 日本アマチュア無線連盟関西地方本部長 島 伊三治 印
- ④ 発行年月日

以上

※ 3月24日 8J3AMJ内(☎078-842-2122)より、JARL大阪(06-779-0489)へFAXしました。

## 阪神、淡路大震災に際し、無線電話によるボランティアに参加して

〒市瀬区在住

JARL会員

JA3WGL

谷 通 好

☎078-851-0759

### (地震発生時の状況)

平成7年1月17日午前5時46分56.3秒(当地の神戸大学理学部陳観測)NS818ガル、EW617ガル、UD332ガル、マグニチュード7.2、震度7の直下型の激震のため、就寝中の枕より頭が浮き上がり身体が宙に浮くように揺さぶられ目覚めました。上下動3回、続いて前後左右動2.5秒間揺床の中で揺れの収まるのを待ちました。当時の音響は、「ズズシーン！ ユッサユッサユッサ！ バリバチドシーン！」非常に長い時間のように感じました。家内の安全を確認め、即時停電で眠り中、懐中電灯で着衣、携帯ラジオで情報を聴取しましたが、何も報道が入りません。両戸を開けて南方を見ると、距離3~400米4ヶ所より猛火、猛煙が見えます。隣家の屋根が落ち、崩れかづれているのが見えました。家の中は蛍光灯が落下し、筆箱、家具、テレビ、本棚、右所用品などが散乱し、各部屋への居場を確保しながら目視点検、続いて外観検査。木造建屋部の壁、柱、ガラス破損の被害以外、幸いに屋根も落ちず、アンテナ系も倒れていない。お気の毒にも隣家まで3軒が連続倒壊してしまった。家内と共に、貴重品をリュックサックに入れたり、自家用車に携帯食、毛布、日用品など手当たり次第に放り込み、余震による家屋倒壊を恐れ、自宅より100米離れた幅員12米道路へ疎開のため移動駐車する。車載通信機は停電の心配なく、アンテナも常備されて非常に有効である。(天候 気温3度 北々東の風 風力3m/s 曇り)

### (個人局 JA3WGL で交信開始)

車載局のスイッチオン、移動中のモバイル局から「道が通れない！ 消防を呼んでくれ！ 救急車に電話して欲しい！ 高速道路が落ちている？ 混信...など」エッ 本当かな?? 有線電話も不通、水道も断水状況。午前7時30分頃より散乱したシャックから430MHzのリグを取り出し、玄關に置いていた移動通信用の川崎重工製800W発動発電機を起動して、状況把握のCQを発信。入感するのは、大阪、奈良方面のみ、神戸が交信出来ない。私の聴取した時間、神戸市内の固定局は皆無、自動車局のみ。午前8時ひとまず対策後、空腹を覚え御飯を炊こうと昨夜用意していたガス釜の洗い米を都市ガスストップのため、電気炊飯器に移し、発動発電機を電源に電気炊飯する。発動発電機の燃料タンクには満タンにガソリンを入れているが3時間余りのみ発電できない。停電がいつまで続くのか? テレビ、仮設電灯もつけたい。電気釜で御飯も炊かねばならない。ガソリンスタンドも被災停電しているので給油不能。自家用車のガソリンを抜いても何時間発電できるか? 通信か生活か? どちらが優先されるか。当然生活を選んで停波。親戚、知人へ安否確認したいが有線電話不通。公衆電話の一部を除き通話可能。順番待ちの長蛇の列。当日、震度4の余震3回倒壊を恐れて石油ストーブ点火せず、暖房なしで身体の芯まで冷えた

18日午後5時やっと商用電源復旧。電気とはこんなに便利で明るいものかと痛感した。シャックからVHF、HFのリグを取り出し、比較的被害の少なかった二階に設置運用開始。通信機器での被害は、レピータの周波数変換カド地震のショックで狂っていたことと落下による短波受信機のダイヤル変形その他、目だった被害はないようだ。

周辺状況把握のため、西宮市、芦屋市、東灘区、灘区、中央区、兵庫区、長山区、須賀区、垂水区、西区の順に地域指定で繰り返し呼びかける。東灘区のJG610C富安氏(後日JA3YRLの設置に自宅を開放された方)より確実な応答あり、他地区の固定局の応答は皆無、走行中の自動車局のみ。被災地では通信どころか断電しているのか? 18~20日頃より被災の情報が各地に伝わり、個人的な救援、安否を尋ねる人達が往来したが、並行していたJR、阪急電車、阪神電車、バス路線が寸断され不通となり、陸の孤島となっている。

20日JG610Cから「JARLよりレピータ・設置場所と応援オペレーターを探している」旨受信。

21日当局だけでは、情報収集が限定されるので、近郊のアマチュア局を誘いグループ化を計画し、折りから復旧した有線電話で5局へ協力申し入れ。市内のアマチュア局は殆ど被災しており、その対応に追われて無線どころか他人のことまで構わって居れない状態と推察する。無線電話で各地区別に呼びかけて居たところ、災害救援のため、神戸へ急遽全速入港してきた海上自衛隊へ搭乗機確保「しらね」搭乗のJMYEP海上自衛隊横須賀基地HAMクラブより応答があり、「交信内容をあちこちワッチしたが、地震の神戸で非常通信らしき交信をしているのはJA3WGLだけで、交信に参加をしたい」と申し出あり。快諾する、自衛隊の仲間に入ってくれることは心強い。

JG610Cより「JARLが発出し用のハンディートキー-200台用意している。秋田兵庫県支部長も用意している」旨受信。JARLが活動しはじめた気配を知り、「JARLが機能すればその組織に従うと話し合う」

22日レピーターテストに参加、以降混信多発し効果無し。給水支援の中継。災害派遣のグループとの交信。赤穂市

のJF3NRJと交信、秋田支部長の存在を知る。開局以来JARL会員なるも役員など無頓着で知らなかった。

瀬区役所の避難所担当課長、係長を尋ね、無線による支援ボランティアを申し入れる。「今行っていることで持っ  
パイでそれ以外のことは考えられない」との回答。「避難所で待たて下さい」とのこと、自転車で東陽東看護学校へ  
行く途中、歩道上に捨ててあった布団に乗り上げて右腕と右肩を捻挫した。後、10日開局近くの病院へ通院治療。

23日、JA3YRLが東瀬区の富安氏方に設置運用開始。当局は中継局に徹して自宅にて個人局で運用する。(当  
時、私の個人的な状況は、昨年11末～12月末まで開腹手術のため入院し、年末退院、医師より自宅にて安静を命  
じられて居り2週間後大地震に遭難、静養どころでない状態であったが、手術後のため家に居り通言したかった)

24～25日、当局へもJA3YRLにも応援はなく、断水で飲料水も不足し、当局の場合、オペレートしながら、  
やけに喉が乾き、喉がガラガラし込んであったアルミやかんから口飲みしながらのQSOだった。

26日JA3RLOの塚田氏へ救援要請とクレーム申し出「JA3YRLを設置したが、富安氏一人でオペレーターは  
耐えられない、至急応援をさねたい」近在の2局に有線電話してJA3YRLの応援を要請する。

この頃多数の救援グループが神戸に入ってきた。日赤高知県支部、富山県支部、岐阜支部、奈良支部、瀬区民生課、  
消防救急、陸上自衛隊派遣通信隊などと交信、救急診療、災害救援、給水などを通報した。

2月3日、JR3RUB鈴木氏と二人で日本郵政特設局から寄贈の150セットを瀬区役所へ搬入し、避難所  
に配布をお願いする。以降私は8J3AMJと在宅時はJA3WGL(主に中継)で運用した。

## 〔災害通信特設局「8J3AMJ」神戸市瀬区学生青年センター内 設置運用について〕

〔※2月26日現在 瀬区の避難所89ヶ所 物資配給人員29,130人 避難所収容人員15,385人〕

2月5日、JN3JLP 小坂氏のご尽力により学生青年センター内に臨時の特設局が開設された。担当はJR3RUB  
鈴木氏と二人のみ、地元2～3局の応援で運用することにしたが、JARLからの応援ボランティアは全員は、  
既に開局していた東瀬8J3AML局へ派遣され、瀬へは全く応援なし。行政からの支援もなし。人員もなし。救援  
物資の入手もできない。何をすれば効果が挙がり、被災者が何を期待し喜ぶか? 誰も教えてくれない。試行錯誤、  
暗中摸索の状態が暫し続きましたが、無線を使って情報の提供をするのが、最も良い手段のボランティアだと判断し  
て情報収集と避難所、各種ボランティアへ情報を流しました。15日から東瀬より一部のボランティアが派遣され  
てくるようになり、組織だって活動ができる様になりました。(避難所、他のグループとの接触、行政の情報収集等  
)勿論、通信販売業者提供の衣料品、沖縄県よりの生花、国産特産品などを避難所、テント生活の避難者に分配した  
り、行政の手の届きにくい規模避難所、テント生活者を訪問したり、タコ焼きの炊き出しなども実施しました。

また、避難者から「妊産婦に対して行政保健所からの講習会がないので不安に思う」との声があり、保健所の事前了  
解を得て、近在の医師、助産師さんの協力で瀬区と東瀬区で二回講習会を実施しました。3月1日は、女性街の本が立ち  
上りましたので移管して引き受けてもらいました。無線ボランティアのグループが主催して、保健所に代行して「た  
ごママひよこママ」講習会を開催したのは前代未聞のことです。妊産婦、保健所から感謝されました。開催のPR  
は新聞、TV、ラジオ放送の協力、ポスターを駅前、街頭、市場、避難所に貼りました。情報の内容は、「かれ  
き整理のチェンソーが欲しい、食料、水、シート、簡易トイレ、紙おしめ、などの要求、炊き出しの情報、慰安イベ  
ント情報、水道、ガス復旧情報、融資、税金の申告、法務相談案内など」の広い情報の提供まですることができま  
した。通常の交信のほか、毎晩、午後8時から30分間JA3WGLを平領局として、8J3AMJはこめ傘下の特設  
、掃宅した近在のボランティア各局と、当日の出来事の報告、問題点、要望事項などを交信した。午後9時より、  
ワッチの全ての各局へ「活動報告、物資、イベント情報など上記の情報提供、それに対する質疑応答」を一斉放送し  
た。芦屋市から須磨区まで広範囲から反響があった。兵庫県の特設災害DM局フェニックスも情報を喜んでた。

3月31日、開局に際し、小冊子「相談窓口情報&DMXサービス情報」を編集し各避難所、ボランティアグループ  
配布しました。31日午後9時、最後の定時放送でボランティア活動終了を報じ、8J3AMJは各避難所、他  
ボランティア団体、自宅でワッチの各局に惜しまれながら閉局しました。

## 〔8J3AMJ〕のボランティアの役員の人事(不特定混成集団のため、僭越ながらJA3WGLが独断決定)

地元局とJARLから派遣された人、直接に来られた方、医師など無線関係以外の人、参加者146名(内訳JA  
R会員63名、非会員64名、非無線19名)多くの方々から北海道から九州の全国より多くの方が、徳袋封書で簡報  
をされ、旅費、食費すべて個人負担で参加をしてくださった。(名譽と実行力と勇気のある人達です!)

参加された地域別	JA1	関東地区	4名	
	JA2	中部地区	3名	非無線

(2/3)

JA3	近畿地区	108名 + 19名 = 126名
JA4	中国地区	2名
JA5	四国地区	3名
JA6	九州地区	1名
JA7	東北地区	1名
JA8	北海道地区	2名
JA9	北陸地区	1名
JA0	信越地区	2名 非無線
アマチュア無線計		127名 + 19名 合計 146名

リーダー JR3RUB鈴木氏 (言語的で実行力あり、個人の業務を打ちやっけて全期間ボランティア地元局)  
 サブリーダー JL7KFO青野氏 (学生、長期間ボランティアされた、情報整理、情報の発案者。長野県)  
 同上 JN3QZZ岩崎氏 (全壊被災者、たまごママひよこママ提案要望者。全期間ボランティア地元局)  
 同上 JG3QXI宮崎氏 (地震直後交信局、夫人病弱関係者、医師等知人多い。同上 地元局)  
 同上 JH3JJD足立氏 (ワープロによる名簿、ロブブック、ファイル作成、救援物資の梱包送、地元局)  
 同上補 JJ3OTS足立夫人 (同上 情報整理、二人とも、後半業務のため欠。地元局)  
 同上補 JH9AGN山田氏 (知識豊富、情報収集、折衝力、実行力あり。準長期間ボランティア横須賀市)  
 同上補 JE3WSD堀氏 (パソコンよりの被災者に必要な情報収集、役所担当より早い。全期間地元局)  
 アドバイザー JA3WGL 谷 (JARL、行政関係との交渉。リーダーの推薦。全期間ボランティア地元局)

※全員、8J3AMJで初対面の人であるが、それぞれ多彩な才能、特徴の能力を発揮されスムーズに運営できた。

「8J3AMJ」傘下の特設局として、神戸大学樹園隊、神戸大学パソコン情報班、東京農工大学ボランティア、フロンガス同好会、元気村、各避難所などに特設。パソコン、インターネットにより、公衆浴場、理髪店、開業医開店している商店等の情報を提供しました。終期には、逆に区役所へ情報を流すところまで活躍し、閉局しました。

### (特記事項と要望事項)

1. 無線ボランティアに参加されたJARL会員、非会員の比率五分五分(無線を愛する者皆同じ)
2. 大阪一期一会HAMクラブ、大阪ローパワーHAMクラブ、JA5各局より携帯無線機用の単3乾電池の寄贈、JR3XY沢井氏より避難所リストの電送など、ボランティア活動に有効に活用させて頂きました。感謝します。
3. 2ヶ月間同室した中国、韓国からの留学生達と国際交流ができた。日本のアマチュア無線のボランティアへの理解と親睦ができた。彼等は異口同音に羨望と賞賛の言葉を我々に話した。「素晴らしい!中国では想像もできない」
4. いつ、どこで発生しても対応できる非常通信周波数帯を、日頃より確保、広報し、監視指導する。
5. 通信機材、予備乾電池、OP用の飲料水、非常食を分散確保する。(一ヶ所では全滅の恐れあり)
6. 非常時に参加できる通信能力、機材、電源を備え、または携帯無線機を持ち非常事態地域に入ってください。勇気と実行力を備えたボランティアの登録を受け、どこで災害が発生しても対応できるようにしたいですね。
7. 免許状の交付または更新時、自動車運転免許証のように、電監局、JARLによる「非常通信」の認識再教育と違反者に対する厳罰の実施と公表して、不法通信に脅威を与え、正常化する。
8. 行政にたいして、非常時におけるアマチュア無線の有効性をPRし認識してもらってほしい。
9. 津波、洪水、火事、地震など災害発生時に周辺の局は、対岸の火事視せず積極的に問いかけて援助して欲しい。  
被災地とその隣では、生活に天地の隔たりがあり、それが理解できない暴言の局がいたのが残念でした。
- 10 保険会社に登録して、すぐに発効する一口以上のボランティア保険の契約を平常より研究して欲しい。

参考 JARL 日本アマチュア無線連盟 ☎03-5395-3100 海老沢 専務理事  
 同上 関西地方本部 ☎06-779-1876 島 本部長、出川 事務長  
 兵庫県支部 ☎07914-2-2493 秋田 支部長  
 (3/3)

◎ 阪神淡路大震災『8J3AMJ災害通信特設局』ボランティア参加証 ◎

貴方は8J3AMJ局運用に際し、ボランティアとして参加ご活躍されたことを証します。

(平成7年1995年1月17日午前5時46分激震、史上最初の震度7で揺れた地区)

開局1月25日～3月31日 神戸市灘区山田町3丁目1-1 神戸学生青年センター内

◎参加されたボランティア局(敬称略、参加名簿順)◎

あなたの名誉と実行力の証です!

★JA3RL★	JA3YRL	JA3WGL	JR3RUB	JN3QZZ	JS3MJJ	JE3WSD
JH3JJD	JJ3OTS	JR3WSS	JJ3OZE	JL7KFO	宮田 敦司	JF3OUH
JG3QQR	JP3OEN	JF3AMA	JA3ACK	JL3ESA	JQ3MCP	JH3XMS
JR5WKQ	JJ3PQE	JG3OLZ	JJ3MMU	JR3TMK	JR3EYI	JR3ELH
JF3UIM	JH3EUZ	JJ3CDF	JG3OUO	JG3QXI	滝本 岳	田中 文雄
JE3CPS	JE3RJA	JS3OMZ	JG3EQO	JH3FLS	JQ3NPC	JA3SCS
JJ3MGO	JPIRIO	JO3HDF	JE5JXM	JQ3JMT	JL4PBK	JH3CWL
JJ3DUH	JH3LJU	JA3IMN	JG2TLL	JF3BES	JS3CGH	JG3OAO
JA3PRE	益田 典明	青柳 英樹	JJ6LUT	JH9AGN	JO3OPK	JO3KXB
JH3RHN	JP3AJY	JG3MTT	JE3FFN	JF5DSW	JJ3FMZ	JS3ANH
JH3IXZ	鮎近 一彦	JF3XMI	JJ3ELF	JQ3SPS	本田 貴子	三木 久子
永野 健三	JK3IEN	JH3PTB	JA3RK	JF8PRR	JF8XHV	JL3PRX
JH3OGT	JO3BZF	JG3DWC	JJ3NPF	JH3BBU	JP1XDP	JL3KSW
岩崎 奈緒美	JH1FOQ	JS2NVV	中川 育男	JQ2AQN	JA3HNU	JR3LLU
JG3GDC	JK3AKN	岡 明彦	JH3TWL	JS3OMH	JG3BXP	JQ3JKF
JA4DDA	JF3DXN	JN3TZB	JE3KFL	小林 秀行	7N3FGA	濱川 真弥
中田 雅子	JA3DGV	JE3DVT	JA3TZZ	JL3JCB	JG0STZ	JH3HXV
JH3DJA	JJ3DMO	三藤 登	JK3AFP	JQ3WZT	米山 芳久	JL3GYJ
JG3GEL	田淵 勝子	藤山 文代	JM3KCU	松本 妙子	深沢 佐由美	JJ3ELF
三野 均	JN3JLP	大谷 徹郎	伊藤 道子	李 燕	JF3VKC	JR3XTY

ご協力を感謝いたします。有難うございました。

(以上150枚限定印刷 by JA3WGL 谷)

灘保健所 所長殿、

「たまごママ、ひよこママ」母親教室講習会実施報告

目的 阪神・淡路大震災のため、保健所の方々は避難所救済業務に全力投入で活躍をされ感謝しています。私達アマチュア無線局も無線により、震災直後から現在に至るまで、避難所間その他関係機関との連絡情報交換、援助などを継続実施しておりますが、その中で「妊産婦、新生児の公的な講習会が無いので不安に思う」との声があり、現状に鑑み少しでもお役に立てればと考え、大谷医師、伊藤助産婦のご協力を賜り「たまごママ、ひよこママ」母親教室講習会を開催致しましたのでご報告申し上げます。

日時 平成7年3月18日(土) 午前9時30分～12時まで  
 会場 神戸学生青年センタースタジオ 神戸市灘区山田町3丁目1-1 ☎078-851-2760  
 講師 大谷産婦人科医院 大谷 徹郎医師、伊藤 道子助産婦。(ご協力、ご厚意ありがとうございました)  
 主催 灘区アマチュア無線ボランティア (神戸学生青年センター内 ☎078-842-2122直通)  
 PR 新聞社、ラジオ放送局、避難所世帯掲示板、街頭張り紙、アマチュア無線ネット放送、口コミなど。  
 内容 VTR放映(妊娠中の食事と栄養20分間、愛と感動の出産ラマーズ法53分間)  
 大谷先生と伊藤助産婦による妊産婦との質疑応答(参加者全員から質問がありました)  
 参加者にドライミルクとおしめを配布いたしました。

アンケート上の統計と参加者よりの要望

- (1)妊娠 3ヶ月2人25% 5ヶ月3人39% 6ヶ月2人25% 10ヶ月1人12% 計8人100%  
 (2)現在困っていることは?  
 ①行政の妊婦向けの講習会などが行われていない。 ②企業主催のセミナーなどが行われていない。  
 ③情報が無いので精神的に孤立している気がする。 ④図書館が閉鎖しているので参考書を借りられない。  
 ⑤家族で安心して住める住居が決まっていない。 ⑥乳幼児相談教室が無い。  
 ⑦倒壊家屋解体による大気汚染で幼児の外出を懸念する。⑧予防接種のことが心配だ。  
 ⑨赤ちゃん用品を売っていた百貨店、用品店が閉まっている。 計9件100%  
 (3)今、必要な物は? 計9件100%  
 情報2件22% ネットワーク1件11% 紙おむつ3件33% 巻の服2件22% ミルク1件12%  
 (4)現在の生活環境は?  
 自宅4人52% 実家1人12% 夫の実家1人12% 避難所1人12% 知人宅1人12% 計8人  
 (5)この企画についての満足度はどうでしたか?  
 たいへん満足1人12% 満足5人63% 無回答2人25% (遅れて途中からの参加者)計8人100%  
 (6)保健所又は当ボランティアに対する要望  
 ①VTRを貸し出して欲しい(自宅でもう一度見たい)  
 ②一日も早く元のように母親教室を再開して欲しい(3件)  
 ③保健所が閉鎖していなければ、ボランティアの方で次回も是非開催して欲しい(2件)  
 ④乳幼児の相談会も是非開催して欲しい(2件)  
 ⑤東灘地区でも開催して欲しい。  
 (7)参加者の住居分布 ※殆どの方は車で来られました。  
 灘区6人76% 東灘区1人12% 中央区1人12% 計8人100%  
 (震災による現在の交通状況:会場は阪急六甲駅より北へ徒歩3分余にあります)  
 阪急電車:三宮駅-六甲駅-御影駅間のみ運行。 御影駅-西宮北口駅間不通。  
 JR線: 上り三宮駅以西より-灘駅迄で開通。 下り芦屋駅以东より-住吉駅迄で開通。  
 灘駅-六甲駅-住吉駅間不通。  
 阪神電車:三宮駅-西灘駅迄で開通。 西灘駅-新在家駅-御影駅間は不通。  
 市バス: 阪急六甲駅前-三宮間運行中。 その他一部路線運行中止。  
 ◎お願い: 次回講習会開催の節も、保健所のご理解とご協力を賜りますように、切にお願ひ申し上げます。

報告者 B J 3 A M J 灘区アマチュア無線ボランティア  
 ☎078-842-2122 (電話FAX兼用)

神戸市東灘保健所 所長殿

## 第2回「たまごママ、ひよこママ」母親教室講習会報告書

目的 阪神・淡路大震災のため、保健所職員の方々は避難所救援業務に全力で活躍をされ感謝しています。私達アマチュア無線局も無線通信により、震災直後から現在に至るまで、避難所間その他関係機関との連絡情報交換、援助などを継続実施していましたが、その中で「妊産婦、新生児の公的な講習会が無いので不安に思う」との声があり、現状に鑑み少しでもお役に立てればと考え、近隣の医師、助産婦のご協力を頂き、去る3月18日(土)灘区神戸学生青年センターにて第1回の「たまごママ、ひよこママ」母親教室を開催し、妊婦さんより要望のありました東灘区に於て4月2日(日)に第2回を開催致しましたのでご報告申し上げます。

日時 平成7年4月2日(日) 午後1時～4時まで(3時間)

会場 東灘区医師会館 分館大ホール 神戸市東灘区御影中野4-1-8 ☎078-811-2265

講師 依藤 先生(産婦人科) 中村 先生(産婦人科) 三輪 先生(小児科) 神尾 先生(小児科)

以上 医師 計4名

弘中 助産婦 酒井 助産婦 伊東 助産婦 以上 助産婦 計3名

《医師先生方、助産婦さん方ご援助、ご厚意有難うございました》

主催 灘区アマチュア無線ボランティア (連絡先 JR3RUB 鈴木 嘉和 ☎078-801-3507  
☎078-881-0641 ☎FAX078-861-3483)

PR 灘保健所、新聞社、ラジオ放送局、駅前張り紙、アマチュア無線ネット放送、電話、口コミなど。

内容 16ミリ映画(出産の心構え 23分間) 明治乳業提供。

医師先生方と助産婦さんによる妊産婦、新生児の母親との質疑応答。

参加者にドライミルク、哺乳瓶、離乳食、ジュース、おしめ等を配布しました。

## アンケートの統計と参加者よりの要望

(1)妊娠 2ヶ月3人38% 5ヶ月3人38% 6ヶ月1人12% 7ヶ月1人12% 計8人100%

(2)現在困っていることは?

①お産に関する情報が不足で不安に思う ②食生活等 ③生活不安定 ④おしめ、ミルク、赤ちゃんの服など2件 ⑤大気汚染のため外出できず、買物に不便2件 ⑥赤ちゃんの洗濯物に埃が着いて不健康 ⑦赤ちゃんの寝付きが悪い ⑧赤ちゃん用品を売っていた百貨店、用品店が閉店している ⑨安心して住める家の未定

(3)今、必要な物は?

おしめ3件43% 赤ちゃんの服2件29% ミルク1件14% 情報1件14% 計7件100%

(4)現在の生活環境は?

自宅5人63% 実家2人25% 避難所1人12% 計8人100%

(5)この企画についての満足度はどうでしたか?

満足3人38% 良い2人25% 安心2人25% 参加者が少ないと思う1人12% 計8人100%

(6)保健所又は当ボランティアに対する要望は?

①一日も早くもとのように母親教室を再開して欲しい(3件)

②保健所が開催できなければ、今回のようにボランティアでテーマを変えて開催して欲しい(2件)

③乳幼児の定期検診をして欲しい。

④灘区・東灘区以外の地区でも開催して欲しい。(今回は北区、芦屋市より参加がありました)

(7)参加者の住居分布 ※3組の方が車で来られました。(ご主人、祖母さん同行も来られました)

東灘区3人38% 灘区3人38% 北区1人12% 芦屋市1人12% 計8人100%

(震災による現在の交通状況:会場は東灘警察署の西約100米にあります)

JR線 不通箇所住吉～灘間が2.5ヶ月振り、昨日、4月1日より全通しました。

阪急電車 西宮北口～御影間不通、 阪神電車 御影～西灘間不通。

◎お願い 次回講習会開催の前も、保健所のご協力とご援助を賜りますように、切にお願い申し上げます。

報告者 灘区アマチュア無線ボランティア (協力局 JN3JLP 小坂 雄二)

JA3WGL 谷 通好 JG3QX1 宮崎 利光 JN3QZZ 岩崎 達也

☎851-0759

☎857-6904

☎801-6751

## 8J3AMJ ボランティアの皆様へ

### (有効な活動を行なうための注意点)

< 無線電話で通信をするときの注意点を挙げてみました。 >

- ① 緊急性の高いものを優先して通報してください。

重要度、緊急性の低い通報については、必要事項をレポートにまとめ、夕刻に、本部へ提出するようにしてください。

- ② 被災者のプライバシーに配慮してください。

緊急通報以外の有線電話番号、住所、氏名等について通報しないように、心がけてください。

- ③ 通報に必要な事項を十分に、確認をしてください。(5月1日を使って)

通報の前に、必要と思われる事項を、十分に把握した上で、通報するように心掛けてください。例(通報は3件あります①なになに ②・・・ ③・・・)

- ④ 地元の方や、他のボランティアの方に積極的に接しましょう。

現場の状況、ニーズをつかむために、色々な人に接することで、小さな情報をつかめるはずです。

- ⑤ 情報をふるいにかけてください。

広告、チラシ等で公共性の低いものや、企業、業者の宣伝にかんするものは、尢近、悪徳な業者が暗躍・存在しますので、注意してください。

- ⑥ 被災者の身になって、自立の為の手助けになる正確な情報。

出来ることと、出来ないことを明確にする。曖昧な返事をしないこと。

- ⑦ 行政の対応力(細かいところまで手が出ない、知らない)状況を知った上で、ボランティア活動で、行政の目をその人達に向けさせ救援・保護をさせる。

- ⑧ ノーモア-災害ですが、非常時における自分自信の通信能力・力量を知るチャンスです。チャレンジしましょう。

JN3QZZ 岩崎より

## 無線通信運用の基本 (初めて無線通信を操作される皆様のために)

- ① 必要のない無線通信は、行なってはならない。
- ② 用語はできる限り、簡潔・正確に、相手局に理解できる早さで、通信する誤りを知ったときは、直ちに訂正する。
- ③ 相手局を呼び出そうとするときは、電波を発射する前に、スケルチ（雑音路）を解除して聴取し、他の通信に混信を与えないことを確かめること。
- ④ 自局の呼び出しが、他の既に行なわれている通信に、混信を与えている旨を受けたときは、直ちにその呼出を中止する。

\*待たせる相手局に、概略の待ち時間を示す＝しばらく、一分間、十分間後

- ⑤ 自局に対する呼出だしが確実でないときは、確実に判明するまで応答しない
- ⑥ 通報の送信の順序と通信用語の意味

\*相手局の呼出符号 こちらは 自局の呼出符号とオペレーター◎◎ どうぞ

\*了解 <通報・用件・質問など> どうぞ。

(上手な通報事項の例⇒通報は4件あります。まず1件目なにに、2件・・と区切って通報します。重要な事項は必ず反復復唱すること)

\*<通信の終了> 自局の呼出符号 ワッチ (聴取して待受けていますとの)

\*了解 (相手局の通報が理解できました)

\*更に送れ (混信・雑音・送受信不良により、もう一度送信をしてください)

- ⑦ トランシーバー取扱の注意

1 新しい電池がはいっていますか? (電圧低下で送信不良になります)

2 スケルチ、ボリュームの調整は良いですか? (受信不良になります)

3 低い場所・遮蔽物の陰では、電波が届きにくい。(場所を変えて送信する)

4 アンテナを垂直に立て、送信ボタンを押したまま、マイクから3握位離してください。送信ボタン(P.T.Tスイッチ)を離すと受信状態になります  
使用するトランシーバーは、送信・受信とも片通話方式(単信式)です。

- ⑧ 阪神・淡路大震災の非常通信用周波数 A 436、88 B、72 C、5

Aチャンネルがメインで、B・Cが予備チャンネルで有効に使用しましょう





遊遊

遊遊所状況総覧 24 2月22日現在

No	施設名	住所	電話番号	遊遊者数		物産配 布人門	医療 対応	給水 設備	給電 設備	ガス	水道	名簿	風防 シヤ	屋根 材	今 年 の 数	既 年 の 数	台 数	男 子	女 子	遊遊回数		その他	
				昼間	夜間															1日	1回		
61	徳井会館	中野町20	851-2115	140	140	1700	常駐	5	5	○	×	×	○	×	×	6	○	○		20	京都市S	遊2回	
62	<del>徳井小</del>	<del>備後町1-3-1</del>	<del>821-1001</del>	<del>459</del>	<del>1300</del>	<del>巡回</del>	<del>×</del>	<del>5</del>	<del>○</del>	<del>×</del>	<del>△</del>	<del>○</del>	<del>×</del>	<del>×</del>	<del>33</del>	<del>10</del>	<del>×</del>	<del>○</del>	<del>○</del>	30	東京大	遊2回	
63	浜田公園	浜田町2																					
64	浜田会館	浜田町3	842-2923	200	300	350	常駐	6	10	○	×	×	△	×	×	(20)	×					遊2回	
65	羽根道町児童館	備後町5-2-10	843-5820			40											×						
66	和島遊事場	和島町2-1-2	871-1081	100	160	160	巡回	×	×	○	×	×		×	×	6	○					なし	
67	鳥和子中	鳥和子町1-2-1	801-9619		420	900	常駐	×	×	○	×	△	○	×	×	14	(33)	○		1	3)	神戸大	毎日
68	市富友山住宅	友山町5-1-1		140	250	250	×	4	2	○	×	×	×	×	×	○	(1)	○				なし	
69	ドルミ荘	大石東町1		280	350	400	巡回	×	1	○	×	△	△	×	×			○	各2			なし	
70	遊遊在宅センター	和島町2-1-27	082-503-1486	45	126	250	巡回	2	4	○	×	×	○	×	×	4						なし	
71	松蔭会館	和島町3-2-1	881-4206	35	35	50		×	×	○	×	×	○	×	×	2		×				遊2回	
72	西郷小	大石東町6-2-1	861-2888	450	872	1100	常駐	12	5	○	×	△	○	1	×	○	(1)	×		20		遊2回	
73	西郷幼稚園	大石東町6-2-2	861-4550	50	90	430	×	×	×	○	×	×	○	×	×	4	(5)	○	○	○	3	1団体	なし
74	遊遊場	和島町6-13-15	861-3814	100	160	200		×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×				なし	
75	和島遊事場	和島町3-2-25	882-5955	60	90	250	巡回	×	×	○	×	×	○	×	×	7	9	×				なし	
76	西郷小	和島町3-4-1	882-8567	1314	1314	2000	常駐	18	5	○	×	○	○		10	26	10	○	○		14	2団体	毎日
77	原田中	和島町2-4-1	861-0431	184	214	350	常駐	×	4	○	×	○	○	×	×	12		×			5	大分教委	毎日
78	和島神社	和島町2-1-25	861-5295	38	60	65	巡回	×	1	○	×	×	○	×	×	○	(3)	○		○			なし
79	西郷公園	大石北町		30	30	120		1	1	×	×	×	×	×	×			×				なし	
80	和島遊事場	大石北町8-1	882-0331	200	240	240	巡回	5	×	○	×	×	×	×	×	○	(6)	?				毎日	
81	岩屋公園	岩屋中町1	882-0352	150	300	550	巡回	4	1	○	×	×	○	1		75	×			6	和島市	遊1回	
82	和島遊事場	岩屋北町2-5-3	881-4918	300	635	680	常駐	4	1	○	×	×	○	×	×	11	7	×			13	和島学院	遊1回
83	岩屋青年会館	岩屋中町4-4-21	871-8407	30	82	120	巡回	5	2	○	×	×	○	×	×	8						なし	
84	<del>和島遊事場</del>	<del>岩屋北町6-1-1</del>	<del>871-1800</del>	<del>250</del>	<del>800</del>	<del>1100</del>	<del>常駐</del>	<del>×</del>	<del>×</del>	<del>○</del>	<del>×</del>	<del>×</del>	<del>○</del>	<del>×</del>	<del>×</del>	<del>41</del>			ググト式		61	FINC	不定期

## 避難所状況総覧

2月22日現在

No.	施設名	住所	電話番号	避難者数		物資配 布人員	医療 対応	トイレ 設置	仮設 設置	電 気	ガ ス	水 道	名 簿	喫 煙 場	シャ ワ ー	原 内 室 数	テ ン ト 数	暖 房 有	ニ ア コ ン	電 気 カー	石油 ストー	サービス		炊事出し の回数
				昼間	夜間																	昼間	夜間	
85	リクスピア	大石東町5-4-14	881-1331	20	40	100	巡回	×	1	○	×	×	×	×		3		×				0		なし
86	グイハツ	大石東町2	882-5121	40	60	60	巡回	×	×	○	×	×	×	×			1	×				0		なし
☆ 87	旧都立泉	大石南町		150	270	270	×	3	4	○	○	×	×	×		○		×				0		なし
88	友田公園	友田町1		25	50	60	×	4	1	○	×	×	○	×			10	×				0		週2回
89	浜田南公園	浜田町14	812-2988	30	38	100	巡回	4	1	○	×	×	×	○			11	○			○	0		なし
☆ 90	成徳老人会館	大石町3	811-5247	(4)	4	12																0		
☆ 91	環境研修センター	閉鎖																				0		
92	朝野学校	中央区熱浜町1	251-1101	170	250	250	巡回	5	×	○	×	×	○	×			10	×				3	SERV	
93	西尾保育所	岩尾北町2	861-2769	(130)	130	130																0		
94	JR青島製作所南	浜南通1		20	53	53	巡回	2	1	×	×	×	×	×			12	×				0		なし

## 電波法 無線局運用規則 (非常の場合の無線通信)

§ ご参考になさってください。 §

## 第5章 運用 第1節 通則

(目的外使用の禁止)

第52条 無線局は、免許状に記載された目的又は通信の相手方若しくは通信事項の範囲をこえて運用してはならない。但し、次に掲げる通信については、この限りではない。

1. 遭難通信 (無線電話) 遭難 ソーナン MAYDAY メーデー ⇒ (電信略符号) SOS
2. 緊急通信 (無線電話) 緊急 キンキュー PAN パン ⇒ (電信略符号) XXX
3. 安全通信 (無線電話) 警報 ケイホー SECURITE セキュリテ ⇒ (電信略符号) TTT
4. 非常通信 (無線電話) 非常 欧文はE X Z (訓練は訓練と読み替えて使用) ⇒ (電信略符号) OOO

非常通信とは 地震、台風、洪水、津波、雪害、火災、暴動その他非常の事態が発生し、又は発生する恐れがある場合において、有線通信を利用することができないか又はこれを利用することが著しく困難であるときに人命の救助、災害の救援、交通通信の確保又は秩序の維持のために行われる無線通信をいう。

5. 放送の受信。
6. その他郵政省令で定める通信。

## 第6章 監督 (非常の場合の無線通信)

第74条 郵政大臣は、地震、台風、洪水、津波、雪害、火災、暴動その他非常の事態が発生し、又は発生のおそれがある場合においては、人命の救助、災害の救援、交通通信の確保又は秩序の維持のために必要な通信を無線局に行わせるとができる。

2 郵政大臣が前項の規定により無線局に通信を行わせたときは、国は、その通信に要した実費を弁償しなければならない。

(非常の場合の通信体制の整備)

第74条の2 郵政大臣は、前条第一項に規定する通信の円滑な実施を確保するため必要な体制を整備するため、非常の場合における通信計画の作成、通信訓練の実施その他の必要な措置を講じておかななければならない。

2 郵政大臣は、前項に規定する措置を講じようとするときは、免許人の協力を求めることができる。

## 第2節 非常の場合の無線通信

(送信順位) ⇒ 優先順位

第129条 非常の場合の送信順位は、下記の通りとする。同順位の内容のものであるときは、受付順又は受信順に従って送信しなければならない。

1. 人命の救助に関する通報。
2. 天災の予報に関する通報 (主要河川の水位に関する通報を含む。)
3. 秩序維持のために必要な緊急措置に関する通報。
4. 遭難者救援に関する通報 (日本赤十字社の本社及び支社相互間に発受するものを含む。)
5. 電信電話回線の復旧のため緊急を要する通報。
6. 鉄道線路の復旧、道路の修理、罹災者の輸送、救援物資の緊急輸送等のために必要な通報。
7. 非常災害地の救援に関し、次の機関相互間に発受する緊急な通報。

中央防災会議会長及び同事務局長並びに非常災害対策本部長。 地方防災会議会長。 災害対策本部長。

### 8. 電力設備の修理復旧に関する通報。

### 9. その他の通報。

前項の順位によることか不適当であると認める場合は、同項の規定にかかわらず、適当と認める順位に従って送信することができる。

#### (取扱の停止)

第136条 非常通信の取扱を開始した後、有線通信の状態が復旧した場合は、すみやかにその取扱を停止しなければならない。

#### (通報の送信)

第29条 呼び出しに対し応答を受けたときは、相手局が「AS、お待ちください」送信した場合及び呼び出しに使用した電波以外の電波に変更する場合を除き、直ちに通報の送信を開始するものとする。

2 通報の送信は、次に掲げる事項を順次送信して行うものとする。ただし、呼び出しに使用した電波と同一の電波により送信する場合は、第1号から第3号までに掲げる事項の送信を省略することができる。

- 1. 相手の呼び出し符号 一回 → 省略できる。毎回送信しなくて良い。
- 2. こちらは DE 一回 → 省略できる。毎回送信しなくて良い。
- 3. 自局の呼び出し符号 一回 → 省略できる。毎回送信しなくて良い。
- 4. 通報 → 用件の通報。
- 5. どうぞ K 一回 → 必ず送信すること。

(長時間の送信) ⇒ アマチュア局は交信中、10分間に1回以上、自局の呼び出し符号を送信すること。

第30条 無線局は、長時間継続して通報を送信するときは、30分(アマチュア局にあっては10分)ごとを標準として適当に「こちらは または DE」及び自局の呼び出し符号を送信しなければならない。

#### (遭難通信の率領)

第172条の2 遭難通報を受信したとき、応答した航空局又は航空機局は、当該遭難通信の率領を行ない、又は適当と認められる他の航空局に当該遭難通信の率領を依頼しなければならない。

2前項の規定により遭難通信の率領を依頼した航空局又は航空機局は、遭難航空局に対し、その旨を通知しなければならない。

#### (目的外通信等)

##### 第6節 目的外通信等

第37条 次に掲げる通信は、目的外通信等とする。

- 1. 無線機機器の試験又は調整をするために行う通信。
- 2. 気象の照会又は時刻の照合のために行う海岸局と船舶局との間若しくは船舶局相互間又は航空局と航空機局相互間の通信。
- 3. 電波の規制に関する通信。
- 4. 医学通報(航行中の船舶内における傷病者の医療手当に関する通報をいう。)に関する通信。  
(無線電話) 医療 イリョウ ⇒ (無線電略符号) MDC
- 5. 方位を測定するために行う海岸局と船舶局との間若しくは船舶局相互間又は航空局と航空機局との間若しくは航空機局相互間の通信。
- 6. 非常事態の通信の訓練のために行う通信。
- 7. 水防法、災害救助法、気象業務法、災害対策基本法等による通信。(8~19略)
- 20. 治安維持の業務を司る行政機関の無線局相互間に行う治安維持若しくは急を要する通信であって郵政大臣告示
- 21. 人命の救助又は人の生命、身体若しくは財産に重大な危害を及ぼす犯罪の捜査若しくはこれらの犯罪の現行犯人若しくは被疑者の逮捕に関し急を要する通信(他の電気通信系統によっては当該通信の目的を達することが困難である場合に限る。)

参考 (プロ通信の用語) [緊急な遭難通信を優先させるため、混信防止を要請、命令する。] \

1. 通信停止遭難 SEELONCE MAYDAY シーロンズ メーデー (遭難発生!他の電波を出すな!)

2. 遭難通信終了 SEELONCE FENEE シーロンズ フィニー (遭難通信終了!通常通信に入る)

(緊急な遭難通信が終了しました。各局、通常通信に入って下さい。許可します。)

FAX MAIL MAIL FAX FAX FAX

(送付先 JA3SHL, JR3LVP, JR3XTY, JJ3UXN, JN3JLP, JQ3NVK) 7/3)